



# ネコの町・谷中ブラブラ散歩

日時:2018年4月4日(水) 天候:晴れ 9000歩 約6km

集合:JR上野駅公園口 13時

コース:上野駅→寛永寺→谷中霊園→五重塔跡→観音寺(築地堀)→岡倉天心旧居跡公園→谷中銀座→夕焼けだんだん  
→朝倉彫塑館→JR日暮里駅(解散)

参加者:平嶋(L) 大平 伊藤眞 小野里 熊島 小林 小島 桑名 藤沼 仁井 松野 計11名

ペット数で一位の座にいた犬が、猫に抜かれて二位に転落！その訳は・・・飼い主の高齢化等で、散歩に連れて行かれなくなった事も一因ですが、猫はツンデレで媚びず、手が掛からないので人気だそうです！今日はそんな猫の町とも言われる谷中を中心にしたゆったり散歩となりました。集合場所の上野駅公園口は、平日にも拘わらず大勢の人で溢れていましたが、やはり中華系の観光客が多く見受けられました。駅からは人混みを避けて輪王寺でコース説明、都美術館裏を抜けて寛永寺に入ります。正確には東叡山寛永寺と言いますが、初代住職はあの天海、本尊は薬師如来です。ここから都営霊園の一つ「谷中霊園」に入ります。ここには徳川慶喜をはじめ、歴史に名を遺す多くの著名人の墓があり、それらを探しながらの“霊園ウォーク”となりました！また園内には焼失した天王寺五重塔跡もあり、当時の礎石が残されています。この後は観音寺の築地堀に沿って歩き、蛸坂から岡倉天心記念公園で小休止。ここは日本美術院を創設した岡倉天心の旧居跡で六角堂に因んで、園内各所には六角形の造形物が置かれているそうですが、気がつきませんでした！谷中銀座はいつもながら大勢の人々が散策を楽しんでいましたが、ここにも多くの外人の姿が見受けられました。「夕焼けだんだん」は、夕焼けには程遠い時間の為、最後は朝倉彫塑館を見学。暫し芸術の香り高い作品を堪能し、日暮里駅で解散となりました。

この日は夏日で些かバテ気味となりましたが、短い割には中身の濃いブラブラ散歩でした！ <フォトレポート 小島>



天璋院(篤姫)の墓所を背に枝垂れ桜の横で全員集合！(と言っても10人+1人ですが・・・)



上野駅公園口。相変わらず中華系の人が多いですね！



こちらは紛れもない純粋な日本人です！



輪王寺（通称両大師）。天海と良源に由来します。



ここで平嶋しより本日のコース説明。（詳細地図も）



←寛永寺徳川歴代将軍の北側墓所。（家綱・家治・家斉は南側の墓所に）

この勅額門（ちよくがくもん）の奥に、「犬公方」と呼ばれた5代将軍・綱吉（つなよし）、「暴れん坊将軍」の異名で有名な8代将軍・吉宗（よしむね）、幕末の将軍として名高い13代・家定の墓所があります。

篤姫の墓は、夫である13代・家定の隣に寄り添うように建っているそうです。明治16年に49歳で亡くなった篤姫は、江戸無血開場や徳川家の存続などの功績から、当時の人が敢えてここに埋葬した志が伝わってきます。墓の周囲には彼女が好物だったという枇杷（ビワ）が植えられています。

※増上寺の徳川家御所は全日公開も、こちらはその機会は限られています。



篤姫は皆さんにも馴染みがあるようで。



枝垂れ桜も満開。もう見納めですね！



寛永寺境内散策。八重桜が見頃でした。

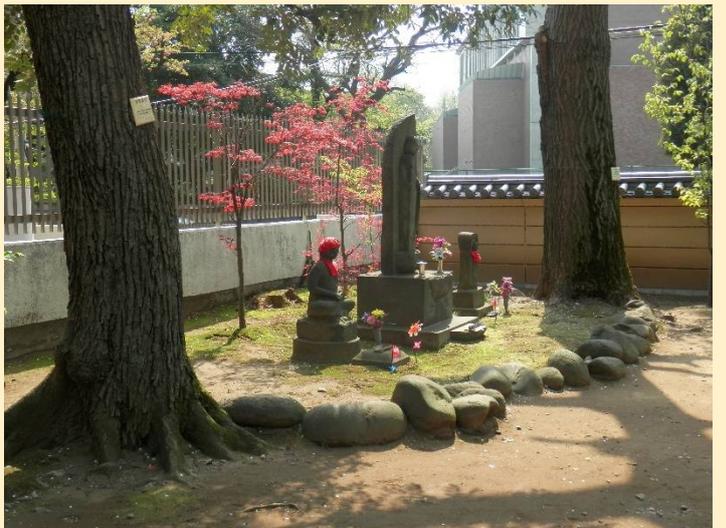


根本中堂（本堂） 歴史の重みを感じられます。

●上野寛永寺：寛永寺は天台宗の別格大本山のお寺。寛永2(1625)年に、徳川幕府の安泰と万民の平安を祈願するため、江戸城の鬼門（東北）にあたる上野の台地に、慈眼大師(じげんだいし)天海(てんかい)大僧正によって建立されました。後には第四代将軍・徳川家綱公の霊廟が造営され、将軍家の菩提寺も兼ねるようになりました。また東叡山主を皇室から迎えた(輪王寺宮)ことで、江戸時代には格式と規模において我が国随一の大寺院となったのです。しかし幕末の上野戦争により、敷地の大部分が上野公園となりました。また関東大震災や太平洋戦争の被害もありましたが、戦後は新たに霊園を造営し一般のお檀家さまを受け入れるなど、開かれたお寺としての役割を果たすことを目指しています。寛永寺は来る創建400周年(2025年)に向けて、上野に刻まれた歴史の重みを今に伝えています。(寛永寺HPより抜粋)



鬼瓦。これは寛永寺旧本坊表門に据えられていたもの。



境内の隅にはもう秋が？ ここだけ異空間のようで・・・



陽射しもピーク。木陰を探しまったりと。



浄名院。八万四千体の地蔵があるそうですがスルー。



本日のメイン(?) 谷中霊園に入りました。



墓と墓の間を縫って・・・ここがウォーキングコース？



徳川慶喜の墓。神式のお墓です。



二つ並んだ右側は、正室の徳川美賀子の墓。



霊園内には長谷川一夫の墓も。



こちらは森繁久彌の墓。



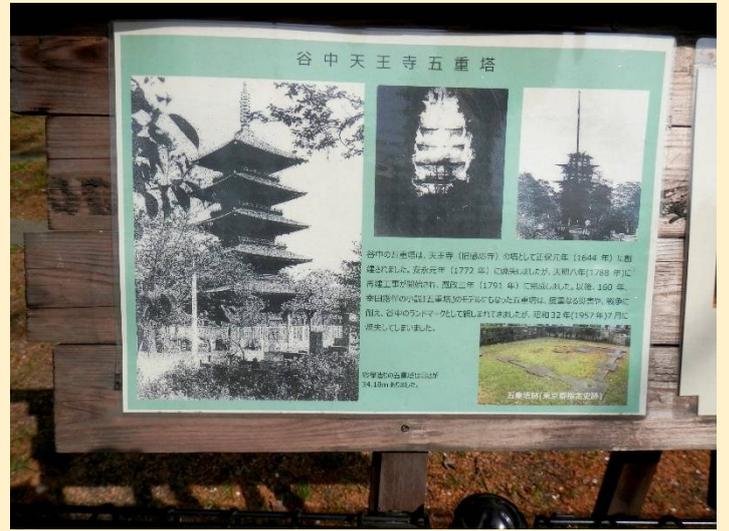
鳩山家。鳩山一郎夫妻の墓。



その横には横山大観の墓が。



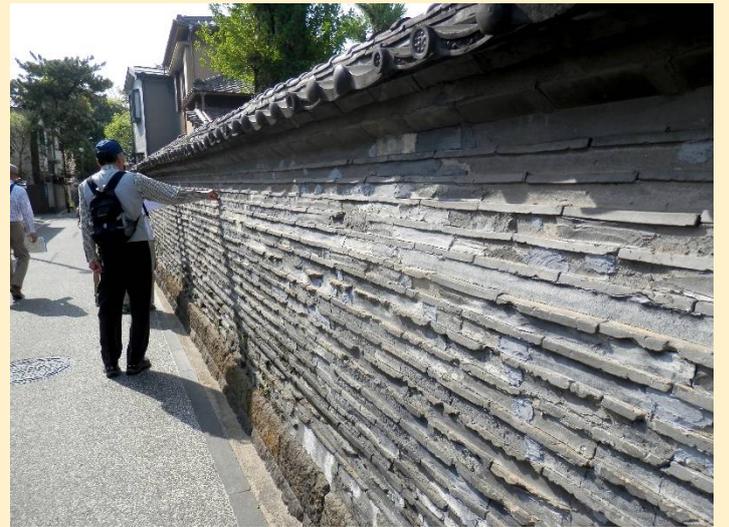
天王寺五重塔跡。礎石がそのまま残っていました。



この塔は幸田露伴の小説「五重塔」のモデルでもある。



観音寺の築地塀（右側）。左は長安寺の今風の塀。



確か久能山にはもっと長大な築地塀があった記憶が。



<岡倉天心像>



岡倉天心記念公園。天心の旧宅跡地。



お疲れ気味。ここでおやつタイム！



谷中銀座はレトロな下町の風情が漂っています。



どこも安くて旨そうな店が・・・目の毒！



「夕焼けだんだん」。立札と桜とだんだんと・・・全部入れたらこんなアングルに！（ミニの女性を狙った訳では・・・）

### ●谷中銀座PR●

商店街には昔ながらの個人商店を中心に、様々な業種約70店舗が全長170メートルほどの短い通りに密度濃く立ち並びます。お店とお客様のコミュニケーションには、谷中界限で今でも続く昔ながらのご近所づきあいを根底とした心地良さがあります。また、商店街では、地元のお客様はもとより寺町でもある谷中に定期的に訪れる法事のお客様とのコミュニケーションも大切にしています。飾らない接客でお客様との距離が近い下町情緒あふれる商店街です。それゆえ映画やドラマのロケ地としても度々使用していただいております。（谷中銀座商店街 Web サイトより）



短い階段ですが最後の上りは応える？・・・



振り返れば・・・猫も見当たらず、夕焼けもナシ！



「朝倉彫塑館」に入ります。(入館料500円)



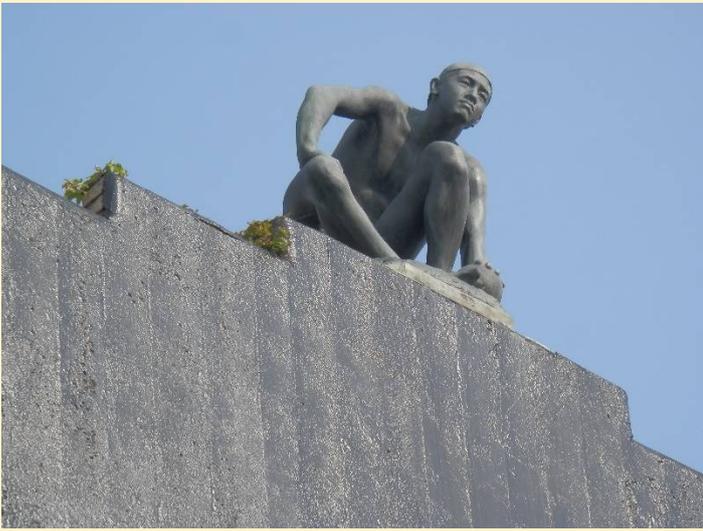
館内は撮影禁止なので屋上から中庭を見下ろす。



屋上には数体の作品が谷中の町を見下ろしています。ここは屋上緑化の先駆けで、もともとは菜園だった場所。

### ●朝倉彫塑館●

東京美術学校を卒業した朝倉文夫は、1907年(明治40年)、24歳の時にこの台東区谷中にアトリエと住居を構えた。当初は小さなものだったが、その後増改築を繰り返し、1935年(昭和10年)に完成したのが現在の朝倉彫塑館の原型。建物は自ら設計し、細部に至るまで工夫を凝らし、こだわりを感じる。朝倉はここを「朝倉彫塑塾」と命名し、門下生を育成した。朝倉文夫は1964年(昭和39年)に世を去りましたが、1967年(昭和42年)には、その遺志を受けた遺族により朝倉彫塑館として公開された。その後、1986年(昭和61年)に台東区に移管され、台東区立朝倉彫塑館となった。2001年(平成13年)に建物が国の有形文化財に登録され、2008年(平成20年)には敷地全体が「旧朝倉文夫氏庭園」として国の名勝に指定された。名勝指定を受けて、2009年(平成21年)から2013年(平成25年)にかけて、修復、耐震補強を施すと同時に、保存修復工事が行われた。(朝倉彫塑館パンフレットより抜粋)



おや？下にはシニアグループが休んでいるぞ・・・



何やら楽しそうな・・・平嶋もほっと一息。



この御殿坂を下るとゴールの日暮里駅です。



駅前で解散。夏のなか皆さんお疲れ様でした！

END